

長崎にいる姪から初孫が出来たと喜びの電話がありました。実家で産後を過ごす聞いて安心しておりました。ある日電話がありママ（姪の娘）のオッパイが出にくく赤ちゃんが飲んでくれないと言うのです。助産婦さんにも来てもらったり、行ったりしてケアをしてもらっていました。私もそんな事はよくあると思いあまり心配していませんでした。何日かして電話してみたら全然改善の様子はなくオッパイにはシコリがあちこちにできて、痛くて赤ちゃんに授乳するのもとても辛いとの事で乳腺外科も受診していました。毎日毎晩親子して寝ずに機嫌悪い赤ちゃんを抱いたりオッパイを絞ったりしてとても疲れ切っていました。電話で話しを聞くだけで可哀想でなりませんでした。そのころ4月の熊本地震で被災して私の姪が生後3ヶ月の赤ちゃんを連れて避難して来ていました。今お話ししている姪親子は主人の姪になります。話を聞いて自分も乳腺炎になって診てもらっている助産師さんに相談するようにアドバイスをしてくれました。自分が苦しんだことで可哀想でたまらなかったようです。すぐ電話して私が話すよりと思い同じ悩みを持つ2人に話をさせました。

（2人は知らないし会ったこともありません）そして是非早く熊本で下園先生に診てもらうことを勧めたのです。家に姪と親子で来たときは赤ちゃんも抱けないほど痛がっていました。切開手術もしていたようです。精神的にも不安定になっていました。赤ちゃんも顔色が悪く小さかったです。早速下園先生を私も一緒に尋ねました。初めてお会いしたと思えない程、とても気さくにお話して診ていただきました。3回目に行った時だと思います、待っている私に先生が雑誌「女性自身」を見せてくださいました。その中に「シリーズ人間」というページがあり先生の今までの助産師としての経歴と子供を救うことの想いがつづられていました。読んでいるうちに涙がこぼれて読めなくなり本を借りて帰り読ませてもらいました。

全国的に知られた「赤ちゃんポスト」に携わってこられた現場での苦悩があられたそうです。そして自分のやるべきことを考えられ今赤ちゃんの幸せとママになった人、なろうとする女性を助ける仕事をされているのです。本当に素晴らしい方です。

美しい優しい笑顔で迎えてくださり下園先生の存在が妊婦さんや新米ママさんをどれだけ抱擁し安心させて下さっていることでしょう。長崎の新米ママも先生に色々と電話で話を聞いてもらいながらなんとか元気にやっているようです。小さかった赤ちゃんも先日7キロになったそうです。いつも熊本に来たいと言っています。本当に下園先生には感謝の気持ちでいっぱいです。それ以来私は下園先生のファンになり時々寄らせて頂いております。

68歳世話やき婆ちゃん